

太平洋地域で発生している軍用艦から通信の試み

2023年3月2日に IFALPA から発行された Safety Bulletin 23SAB03 「Communication Interference by Military Warships in the Pacific Region」は、東南アジアから西南アジアを飛行する本邦航空会社に大きく関係する内容のため、翻訳して皆様に状況をお知らせします。



SAFETY BULLETIN

23SAB03
2 March 2023

太平洋地域で発生している軍用艦から通信の試み

最近、太平洋地域の南シナ海やフィリピン海、インド洋東部において、航行する民間機や軍用機が 121.5MHz や 123.45MHz といった周波数を通じて軍用艦から送信を受けるケースが起きていることについて、IFALPA から注意喚起します。

軍用艦が航行している空域を迂回させるため、航空機が飛行方向の指示まで受けたケースもあります。我々は、この理由が衛星電波や電波高度計に対する妨害行為が関係していると考えています。

IFALPA では IATA や航空交通管制機関に対して、全ての航空機は本来の手順に従うこと及び、将来に亘ってこのような事態が起きないように申し入れをしています。

推奨事項

もしも軍用艦があなたのフライトに対して呼びかけを試みようとした場合、次の手順を参考にしてください。

- 軍用艦に対して決して返答しないでください
- そうした試みがあったことを、直ちにその空域を管轄している航空交通管制機関へ報告してください
- 自社の運航支援者に対して、無線による呼びかけがあったことを知らせてください
- 自発報告制度 (ASAP = Aviation Safety Action Program) への報告或いは自社の安全報告制度などを通じて非管制通信による通信設定或いは衛星航法への妨害行為があった場合、レポートを提出してください

なお、本 Information は、IFALPA より発行された SAFETY BULLETIN を翻訳したものであり、その中で示されている「推奨事項」は、日乗連として推奨しているものではありません。

Intercept(要撃)に関する ICAO ルールや各社マニュアルに従うほか、PIC が最善と判断する飛行方法で安全確保してください。

*原文は ALPA Japan HP 掲載の [23SAB03](#) をご参照ください。

以上